



2022年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年4月11日

上場会社名 サンケイ化学株式会社 上場取引所 福
 コード番号 4995 URL <http://www.sankei-chem.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福谷 明
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役総務本部長 (氏名) 福谷 理 TEL 099-268-7588
 四半期報告書提出予定日 2022年4月11日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

1. 2022年11月期第1四半期の連結業績（2021年12月1日～2022年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年11月期第1四半期	1,654	9.1	92	△21.1	102	△23.4	72	△23.9
2021年11月期第1四半期	1,517	7.6	117	-	134	-	95	-

(注) 包括利益 2022年11月期第1四半期 80百万円 (△12.5%) 2021年11月期第1四半期 92百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年11月期第1四半期	75.95	-
2021年11月期第1四半期	99.75	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年11月期第1四半期	7,566	3,049	38.9	3,070.27
2021年11月期	7,640	2,995	37.7	3,009.60

(参考) 自己資本 2022年11月期第1四半期 2,942百万円 2021年11月期 2,884百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年11月期	-	-	-	25.00	25.00
2022年11月期	-	-	-	-	-
2022年11月期（予想）	-	-	-	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年11月期の連結業績予想（2021年12月1日～2022年11月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	3,730	△2.7	212	△38.9	247	△35.3	172	△35.5	179.45
通期	6,930	△1.5	230	△41.4	291	△35.9	204	△35.0	212.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年11月期 1 Q	1,019,700株	2021年11月期	1,019,700株
② 期末自己株式数	2022年11月期 1 Q	61,424株	2021年11月期	61,381株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年11月期 1 Q	958,282株	2021年11月期 1 Q	958,524株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、2021年末は新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置が秋口に解除されたことで個人消費が上向きましたが、年明けからの感染再拡大により再度まん延防止等重点措置が発出されたことで景気は下振れました。2021年から続くエネルギー資源の高騰ならびに2月下旬に勃発したウクライナ紛争による経済・金融へのマイナスの影響が景気を更に下振れさせるリスク要因となっております。国内の新型コロナウイルス感染症の収束時期ならびに経済の本格的な回復時期も見通せない状況が依然として続いております。

国内の農業を取り巻く環境に関しましては、農林水産物の輸出金額は前年同月を上回り好調に推移しておりますが、国内の外食産業の需要は回復しておりません。また農業就業者数の減少、高齢化といった根本的な課題が解消されておらず、国内の農業を取り巻く厳しい状況は依然として続いております。

このような状況のもと、当社グループは従来からの地域密着を基本に、水稲用殺虫剤「スクミノン」、食品由来物質を用いた「サンクリスタル乳剤」、「ハツパ乳剤」ならびに環境と樹木への負荷を軽減した樹幹注入剤「ウッドスター」などの独自開発品に加え、総合防除による環境保全型農業への推進、森林や公園・ゴルフ場等の緑化防除事業ならびに不快害虫防除薬剤の開発と防除事業などに注力するとともに受託生産にも努めて工場の操業度向上を図ってまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、16億54百万円（前年同期比1億37百万円、9.1%増）となりました。損益面では、営業利益は92百万円（前年同期比24百万円、21.1%減）、経常利益は1億2百万円（前年同期比31百万円、23.4%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は72百万円（前年同期比22百万円、23.9%減）となりました。

なお、当社グループでは「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日改正。以下「収益認識会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前年同期との比較は基準の異なる算定方法に基づいた数値を用いております。詳細は「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」に記載の通りであります。

当社グループの事業は単一セグメントであります。製品の用途別売上は以下のとおりとなりました。

殺虫剤は園芸用が増加し売上高は9億81百万円（前年同期比59百万円、6.5%増）、殺菌剤は水稲用が減少し売上高は1億24百万円（前年同期比5百万円、4.4%減）、殺虫殺菌剤は水稲用が増加し売上高は1億71百万円（前年同期比75百万円、78.1%増）、除草剤は園芸用が増加し売上高は1億90百万円（前年同期比42百万円、28.9%増）、その他は園芸用が減少し売上高は72百万円（前年同期比31百万円、29.9%減）、農薬外その他は緑化用が減少し売上高は1億13百万円（前年同期比3百万円、2.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は75億66百万円で、前連結会計年度末に比べ74百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金の減少が電子記録債権並びに商品及び製品の増加を上回ったことによるものであります。

負債は45億16百万円で、前連結会計年度末に比べ1億28百万円の減少となりました。これは主に未払賞与並びにその他の減少が支払手形及び買掛金の増加を上回ったことによるものであります。

純資産は30億49百万円で、前連結会計年度末に比べ53百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年11月期の第2四半期累計期間及び通期の連結業績は、2021年11月期の決算発表時（2022年1月11日）の業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,161,174	1,596,653
受取手形及び売掛金	1,402,410	1,518,691
電子記録債権	603,533	794,538
商品及び製品	952,757	1,166,593
仕掛品	84,321	70,990
原材料及び貯蔵品	507,198	516,228
その他	66,154	42,391
貸倒引当金	△1,417	△598
流動資産合計	5,776,132	5,705,489
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	193,623	191,728
機械装置及び運搬具(純額)	157,728	148,711
土地	304,891	304,891
リース資産(純額)	49,893	47,197
建設仮勘定	—	638
その他(純額)	27,305	25,394
有形固定資産合計	733,442	718,561
無形固定資産		
ソフトウェア	3,823	3,309
その他	165	165
無形固定資産合計	3,989	3,475
投資その他の資産		
投資有価証券	951,558	966,995
繰延税金資産	90,194	86,046
その他	99,937	100,405
貸倒引当金	△14,588	△14,588
投資その他の資産合計	1,127,102	1,138,859
固定資産合計	1,864,533	1,860,896
資産合計	7,640,665	7,566,385

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,197,552	1,329,982
1年内返済予定の長期借入金	730,484	730,277
リース債務	20,487	20,211
未払法人税等	96,654	39,201
賞与引当金	17,122	47,009
販売促進引当金	113,617	—
返金負債	—	145,500
未払賞与	107,175	—
その他	436,991	288,710
流動負債合計	2,720,083	2,600,892
固定負債		
長期借入金	1,233,843	1,224,187
リース債務	33,941	31,319
退職給付に係る負債	347,606	350,935
役員退職慰労引当金	73,400	74,600
長期預り保証金	235,948	234,696
固定負債合計	1,924,739	1,915,738
負債合計	4,644,822	4,516,631
純資産の部		
株主資本		
資本金	664,500	664,500
資本剰余金	296,712	296,712
利益剰余金	1,806,088	1,853,884
自己株式	△67,969	△68,027
株主資本合計	2,699,332	2,747,070
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	184,831	195,104
その他の包括利益累計額合計	184,831	195,104
非支配株主持分	111,679	107,579
純資産合計	2,995,842	3,049,753
負債純資産合計	7,640,665	7,566,385

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年2月28日)
売上高	1,517,318	1,654,964
売上原価	1,081,464	1,256,263
売上総利益	435,854	398,701
販売費及び一般管理費	318,565	306,190
営業利益	117,288	92,510
営業外収益		
受取利息及び配当金	4,614	6,288
受取賃貸料	714	714
受取保険金	—	1,126
倉庫保管料	2,196	2,563
持分法による投資利益	9,386	90
その他	3,474	2,489
営業外収益合計	20,386	13,273
営業外費用		
支払利息	2,914	2,912
その他	507	25
営業外費用合計	3,422	2,938
経常利益	134,252	102,845
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	134,252	102,845
法人税等	40,243	32,482
四半期純利益	94,009	70,362
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,608	△2,423
親会社株主に帰属する四半期純利益	95,618	72,786

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年2月28日)
四半期純利益	94,009	70,362
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,030	10,825
持分法適用会社に対する持分相当額	221	△478
その他の包括利益合計	△1,808	10,346
四半期包括利益	92,200	80,709
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	93,741	83,058
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,540	△2,349

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識基準等の適用による主な変更点は以下のとおりであります。

(1) 変動対価に係る収益認識

当社及び連結子会社において、従来は販売費及び一般管理費に計上しておりました販売促進費等の一部を、売上高から控除しております。

(2) 有償支給取引に係る収益認識

従来、有償支給元への売り戻し時に売上高と売上原価を計上しておりましたが、加工賃手数料のみを純額で収益として認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用につきましては、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高、売上総利益はそれぞれ34,592千円減少し、販売費及び一般管理費は32,253千円減少、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ2,339千円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は1,032千円減少しております。

前連結会計年度の連結貸借対照表において「流動負債」に表示しておりました「販売促進引当金」は、当第1四半期連結会計期間より「返金負債」に含めて表示しております。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法による組替えを行っておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2020年12月1日至2021年2月28日)及び当第1四半期連結累計期間(自2021年12月1日至2022年2月28日)

当社グループは農薬の製造販売、ならびに農薬に関連した防除作業を事業内容としており、事業区分が単一セグメントのため記載しておりません。